

建物の湿害

対象：設計者、施工者、不動産、建物管理者、研究者

第1回 公開研究会

蒸暑地域の 湿度と結露について 話してみませんか？

先着

20

名

会場：第一牧志公設市場(多目的室 大)

住所：沖縄県那覇市松尾2-10-1



開催日時

7/20 土

14:30~16:30

開催概要

蒸暑地域環境建築研究会
日本建築学会 湿気小委員会
蒸暑地域における建物の湿害実態調査
WG 公開研究会

お申込みはこちら



お問い合わせ:蒸暑地域環境建築研究会 moisture.damage@gmail.com

プログラム

司会：中嶋 麻起子(広島工業大学工学部 建築工学科 講師)

14:30

蒸暑地域での夏型結露発生の仕組み

蒸暑地域とは何か？夏型結露発生の仕組みとは？についての説明

三浦尚志（国立研究開発法人建築研究所）

15:00

蒸暑地域での湿害の事例紹介

実際に沖縄で発生している夏型結露による湿害事例のご紹介
下地洋平（株式会社クロトン）

15:30

湿害への対策の事例紹介

夏型結露が発生していた住宅における対策手法のご紹介
小椋 大輔(京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授)
松田まり子（松田まり子建築設計事務所）

16:00

質疑応答 & アンケート

終了後、近くにて懇親会を実施します（任意）
ぜひご参加ください！

開催主旨：

沖縄のような年間を通じて高温多湿な地域（蒸暑地域）では、内装や天井裏、壁内などで結露やカビの発生など湿気に関する問題（湿害）が発生しやすい環境となっています。

地球温暖化により気温・湿度が上昇し続ける中、蒸暑地域がさらに拡大する可能性は高く、そこでの住環境に関する課題解決は必須と考えられます。これまで冬季の寒さを対象としてきた日本の建物のあり方に大きな転換点が訪れているともいえるでしょう。現在沖縄で発生している湿害は、今後の日本のより広い地域における湿害のスタンダードとなる可能性を孕んでいます。

本公開研究会は、現在の沖縄で発生する湿害問題について、研究者・設計者・施工者だけでなく、居住者を含むすべての人々の認知度を高め、蒸暑地域での湿害を「仕方のない問題」ではなく「解決すべき問題」としての問題提起と情報交換を行うことを目的としています。